

Road to 71 国体 ～選手強化の取組～

vol.3

第71回国民体育大会強化委員会

希望郷いわて国体、冬季大会開催まで1年を切りました。第70回国民体育大会もスケート競技会・アイスホッケー競技会を皮切りに開催され、本県選手団は幸先の良いスタートを切ってくれました。今年は岩手国体本番1年前となり、チーム岩手の機運がますます高まっており、今回はその一コマを紹介します。

～競技団体組織～

競技団体会長会



平成26年11月、競技団体の会長が一堂に会し、長崎国体の総括を行うとともに、岩手国体の目標達成に向けての意見交換を目的に「競技団体会長会」を開催しました。長崎国体で得点を獲得したいいくつかの競技団体の国体強化の取組を紹介してもらったほか、競技団体会長という立場で、日頃、国体強化について考えていることなどについて、活発な意見交換がなされました。終わりに、それぞれの競技団体において掲げた目標達成に向けて邁進することを確認し、閉会となりました。

～知事激励～

強化事業視察

ボクシング競技の強化事業の一つとして、医・科学サポートを活用した体力測定とワークショップが、平成27年1月にみたけのスポーツ医・科学担当事務室で行われました。国体強化選手（少年種別）が体力測定をしているところに、岩手県体育協会会長でもある達増知事が視察に訪れ、選手や指導者を激励しました。

測定を終えた選手達は、知事からの激励の言葉に、少し緊張した面持ちで真剣に耳を傾けており、代表して梅村錬選手が「次の国体では一人でも多く優勝できるよう頑張っていきます。」と決意を述べました。知事から激励を受けた選手達は、岩手国体目標達成に向けて、意欲的にその後の栄養プログラムを受講していました。



頑張れ岩手県選手団